

# EUROPE ART TOUR

主催 後援会

企画 下地優子

協力 株式会社 エイチ・アイ・エス

## DAY1 スイス/ローザンヌ

ローザンヌは対岸にフランスのアルプスが迫るレマン湖沿いの丘陵地帯にある静かな町で、ヴォー州の州都でもあります。上質のスイスワインの産地として知られ、街の東側からブドウ畑の延々と続く一帯は「ラヴォーのブドウ段々畑」として2007年にユネスコ世界遺産に登録されました。

スイスにおける学問や芸術の中心地でもあり、世界的に有名なローザンヌ国際バレエコンクール（Prix de Lausanne）の開催や、IOC国際オリンピック委員会本部があることでも有名です。



## 現代バレエの名門、ベジャールバレエ団見学 & 芸術監督と面会 ダンサーたちとバレエ団のカフェテリアでランチ



### ベジャールバレエ団

モーリス・ベジャール（Maurice Béjart, 1927年1月1日 - 2007年11月22日）が1954年にエトワールバレエ団を結成し、1960年にはベルギーの支援を得て20世紀バレエ団を結成しブリュッセルを本拠地として活動を行う。1987年に本拠地をベルギーからスイスのローザンヌに拠点を移し、「ベジャール・バレエ・ローザンヌ（BBL）」を創立。

これまで以上に男性ダンサーの役割を重視し、感動的で共感を呼ぶ振付けによって多くの観衆を惹きつけました。「ボレロ」「春の祭典」をはじめ、「バレエ・フォー・ライフ」、「愛、それはダンス」などの作品で知られています。

2007年のベジャールの死去により、ジル・ロマンが芸術監督に就任しました。現在バレエマスターを小林十市氏が務めます。

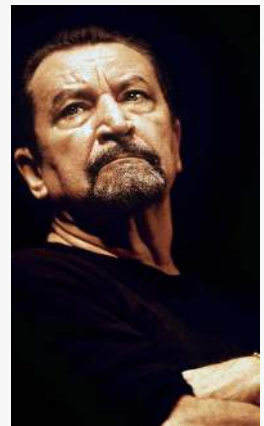
# 1

### モーリス・ベジャールとベジャールダンサー

ダンスに愛と革新をもたらした天才振付家、モーリス・ベジャール。ベジャール氏は、1955年に実存主義の雰囲気の色濃く漂わせる「孤独な男のためのシンフォニー」を振り付け、コリオグラファーとして本格的なスタートをきり、1959年初演の「春の祭典」で一躍世界の注目を集めた。春祭に捧げられる犠牲の乙女の物語という原作からは遠く離れ、レオタードを身につけた全裸を思わせる男女同数の群舞が豊穡な性の力を誇示するその振付けは、真に革新的なものであり、観客に大きな衝撃を与えたのである。同時に、それは舞踊が本来持っていた根源的な力を改めて告知させることでもあった。ベジャール氏は、シンメトリーを捨て、輪を、円環を、その原初的な力を迷うところなく選び取り、それまでの舞踊の額縁舞台という制約を突破することにより、当時世界の主流であったクラシック・バレエの流れを大きく変えたのである。この「春の祭典」が、以後、世界の舞踊界に与えた影響は計り知れないものがある。

バレエの古い装飾をはぎ取り、生と死を見つめる現代人の芸術として創作。旺盛な好奇心と膨大な知識をもとに、演劇・映画・文学・思想・宗教など異分野の要素や手法も取り入れたその舞台は、最先端の総合芸術として世界中の人々を魅了した。日本には1967年に初来日。瞬く間に感性の鋭い人々の注目を集め、ブームを巻き起こした。

ただ、立っているだけ、腕を一つ動かすだけで、体を通して語りができるのはベジャールバレエ団のダンサー達の特徴。単に体を鍛えるだけでなく、魂を磨いている様子を見学できる。



### 仮名手本忠臣蔵をもとに作られた 『ザ・カブキ』

日本への関心も高く、東京バレエ団のために、1986年には歌舞伎の人気演目である「仮名手本忠臣蔵」をテーマにした『ザ・カブキ』、1993年には三島由紀夫をテーマにした『M』を振付けています。日本人の「道」を学ぶため、付属バレエ学校では必修科目に剣道の授業が・・・



## スイスで一番美しい城、シヨン城観光

### シヨン城の歴史

ヴォー州のレマン湖畔に建つシヨン城。年間40万人以上の訪城者を誇り、「スイスで一番美しい城」と称される。レマン湖畔の岩盤上に佇むその姿は、まるで湖に浮かんでいるかのように見え、非常に幻想的だ。ディズニー映画『リトルマーメイド』に登場するエリック王子の居城は、この城をモデルにしたともいわれる。

城の歴史を簡単に述べてと、もともとはヴァレー州シオンの司教城郭であったが、12世紀頃には、レマン湖一帯から北イタリアにおよんで勢力を誇ったサヴォワ家の城となり、13世紀にピエール・ド・サヴォワ（ピエール2世）が、現在のスタイルの城へと増改築した。1536年には、ヴォー地方を征服したベルン地方のスイス人により、城を占領される。以後、260年以上の長きにわたり、城は代官の住居や武器庫、牢獄としての役割を兼ねた。1798年のヴォー州革命後、1803年にヴォー州の所有となり、19世紀末から修復が行われ、現在に至っている。



ギュスターヴ・クールベ《シヨン城》1874-1877

### シヨン城にインスピレーションを受けた文豪・芸術家たち

シヨン城に年間40万人以上の観光客が押し寄せるきっかけを作ったのは、ゲートに「今世紀最大の天才」と絶賛されたイギリス・ロマン派の代表的詩人バイロン（1788～1824年）である。1816年にシヨン城を訪れたバイロンは、かつて城の地下牢に幽閉されていた実在の人物フランソワ・ボニヴァール（1493?～1570年）をモデルに、長編叙事詩『シヨン城の囚人』を書き上げた。囚われの身となった主人公の魂の叫びを、ロマンティックに謳いあげた『シヨン城の囚人』は、20の言語に翻訳される空前の大ヒット作となり、シヨン城の名は世界中に広まった。

また、フランスの作家ヴィクトル・ユーゴー（1802～1885）、『三銃士』や『モンテ・クリスト』の著者アレクサンドル・デュマなど多くの文豪が、シヨン城とその風景に魅せられたという。文学者だけにとどまらず、絵描きたちもシヨン城を題材に筆をとった。特に写実主義の巨匠・フランスの画家のギュスターヴ・クールベ（1819～1877年）はいくつもの『シヨン城』を描き、その絵を生涯にわたり、誰にも売ることがなかったという。19世紀イギリスで最も偉大な風景画家と称されるウィリアム・ターナー（1775～1851年）も、レマン湖に浮かぶシヨン城や山々を、幻想的に描いている。シヨン城は、芸術家にインスピレーションを与える城なのだろう。

## ボーリュ劇場にて、名指揮者ジョナサン・ノットの指揮、ロシアの天才若手ピアニスト、ドミトリー・シシキンのソロによるオーケストラ鑑賞

### ボーリュ劇場の歴史

1954年に創立したボーリュ劇場は国内最大の1854席を配置し、当時スイスで最も絢爛豪華な劇場とされた。20世紀後半以降、フランスのシャンソン歌手バルバラやエディット・ピアフ、米国のジャズ歌手エラ・フィッツジェラルドやクインシー・ジョーンズが脚光を浴びたステージだ。1973年からは、毎年2月にローザンヌ国際バレエコンクールを開催し、才能を秘めた若いダンサーにプロとして活躍するチャンスを提供してきた。観客の視認性を重視した傾斜のついたステージが特徴。



### ジョナサン・ノット

1962年イギリス生まれ。ケンブリッジ大学で音楽を専攻し、マンチェスターのロイヤル・ノーザン・カレッジでは声楽とフルートを学び、その後ロンドンで指揮を学んだ。ドイツのフランクフルト歌劇場とヴィースバーデン・ヘッセン州立劇場で指揮者としてのキャリアをスタート。1997年～2002年ルツェルン交響楽団首席指揮者兼ルツェルン劇場音楽監督、2000年～2003年アンサンブル・アンテルコンタンポランの音楽監督、2000年～2016年ドイツ・バンベルク交響楽団の首席指揮者を経て、2017年1月よりスイス・ロマン管弦楽団の音楽監督を務める。2014年度シーズンより東京交響楽団第3代音楽監督を務める。



### ドミトリー・シシキン

ロシアの男性ピアニスト。1992年2月12日生まれ。2004年にロシアの若手音楽家のための第5回 International Nutcracker Television Competition(国際くるみ割り人形TCコンクール)で優勝して注目を集める。2013年ブゾーニ国際ピアノコンクール第3位。2015年第17回ワルシャワのショパン国際ピアノコンクールで6位入賞。2010年よりチャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院でエリソ・ヴィルサラゼに師事。

ローマ時代から栄えた歴史を持ち、イタリアとドイツを結ぶ交通の要衝として発展したスイス最大の都市チューリヒ。国際空港があるスイスの玄関口。他の都市とのアクセスもよく旅の拠点として理想的な町です。経済・文化の中心を担うスイス最大の都市でありながら、中世の建物が並ぶ小さな町の魅力も兼ね備えています。



## メルツバッハ氏との面会、チューリヒ美術館（クンストハウス）の見学

### アウシュビッツを生き抜き、世界でも指折りのビジネスオーナー、美術品コレクターとなった、ヴェルナー・メルツバッハ氏（95歳）

三十年前、現在95歳のヴェルナーと彼の妻ガブリエル・メルツバッハは、世界中で最も優れた現代美術コレクションの一つを組み立て始めました。

ドイツで裕福な毛皮商の家族に生まれ、育ったヴェルナーの妻ガブリエルは、祖父の興味によって芸術に触れました。世界中を旅行した後、彼女の家族はスイスのチューリヒに定住しました。祖父のベルンハルト・マイヤーが現代画を購入したことが、彼らのコレクションの始まりです。

その後第二次世界大戦が勃発したので、彼らはアメリカへ引っ越しました。コレクションの一部を置いていかざるを得なくなりましたが、コレクションの最も特別なものは彼らとともに旅をし、最終的に第二次世界大戦後に一家とともに、スイスに戻りました。

このコレクションの一部を受け継ぐことで、メルツバッハ夫妻はその収集に導く卓越した基準を得ました。



ヴェルナー・メルツバッハご本人もドイツで生まれましたが、戦争が勃発する直前に両親によってスイスに送られ、そこで育ちました。彼はスイスで10年間育ち、1949年にアメリカに移住、2年後にアメリカで妻・ガブリエルと出会い結婚しました。陸軍での軍務を終えた後、彼はMayer & HoffmannおよびMax Pick, Inc.のパートナーとしてニューヨークの毛皮市場に入りました。1964年に彼らはスイスに戻り、ヴェルナーは国際毛皮取引会社Mayer and Cie AGの唯一のオーナーとなりました。

妻・ガブリエルの祖父からの相続に加えて、ドイツ表現主義とロシアの前衛主義に対する彼らの興味が、彼ら独自の美術コレクションの基盤を築きました。数年にわたり、モネやセザンヌなどの印象派時代のアーティスト、さらには後期印象派時代のヴァン・ゴッホやピカソなどから印象的な絵画を多く集めました。クンストハウス美術館との協力により、65点の選りすぐりの絵画が最低でも20年間コミットされています。そのコレクションはクンストハウス美術館の魅力的な展示品の一部となっています。

### ヴェルナー・メルツバッハ氏のコレクションが保管されるチューリヒ美術館

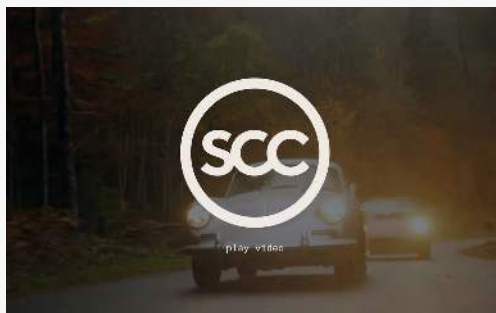
近代絵画コレクションが充実した、1787年開館という歴史を誇る美術館。スイス出身の芸術家であるホドラーやジャコメッティなどの充実したコレクションを収蔵するほか、後期ゴシックやイタリア・バロック、オランダ絵画、フランス印象派、表現主義絵画など、幅広い年代における世界に名だたる巨匠の作品が常設展示されています。常時複数の興味深い企画展示も開催され、見応えも豊富。イギリスの建築家デヴィッド・チッパーフィールド設計による増築により、スイス最大の美術館となりました。館内に設けられたレストスペースのベンチやソファなどにMinottiが採用されました。

1910年に建てられたクンストハウスの歴史的建造物とチッパーフィールドによる増設部分は、全長70mの地下ギャラリーで結ばれています。この拡張工事はプロジェクト開始から12年足らずで完成しました。今回の増築は、カール・モーザー（1922年）、オットーとヴェルナー・フィスター兄弟（1956年）、エルヴィン・ミュラー（1977年）に続き、4度目のものになります。



# ヨーロッパ最大のクラシックカーコレクションを見学。 オーナー、ハンス・シェアー氏との面会。

## スイスクラシックカー有限責任会社について

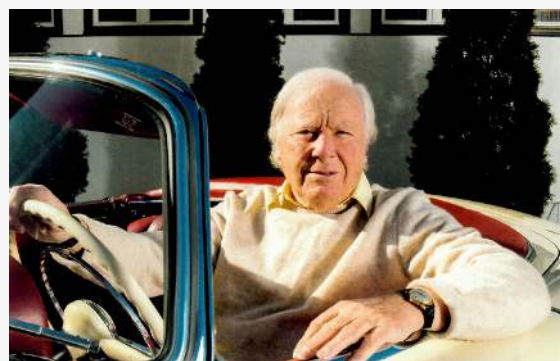


スイスクラシックカー有限責任会社 (swiss classic car gmb H) は、ポルシェやメルセデスのオールドタイマーカーを100台以上コレクションしている会社です。全ては、オーナーであるハンスから始まりました。修繕、販売まで愛と情熱を持って行っている、ヨーロッパ最大級のクラシックカーのコレクションを保有する会社です。ホームページをQRコードからご覧いただけます。

## オーナー、ハンス・シェアー氏 (92歳) の愛が作ったコレクション

92歳のハンス・ウルリッヒ・シェアーの美しい車への愛が、彼のポルシェとメルセデスのクラシックカーコレクションの始まりでした。車を整備するために最初はメカニックを雇いましたが、それが年月を経て10人のチームに発展し、彼らの手で、コレクションを維持し、修復し、価値を現在まで紡いでいます。

クラシックカーへの情熱は、1950年代の若いころに中古車ディーラーシップで学生労働者として働き始めたときに始まりました。彼の修復への最初の経験は、彼が500スイスフランでブガッティ・ブレシア・カブリオレを購入したときでした。彼は毎週末にこのブガッティを修復し、新品同様になるまで1年間かかりました。法学の学位を取得した後、アメリカで1年間旅行していた際、いとこが彼の大切なブガッティの世話をするはずでしたが、帰国後、彼の車は売られてしまいました。なぜならいとこが自分の会社のためにお金が必要だったからでした。(いとこの会社は最終的には倒産しましたが・・・) 今日で言うと60万スイスフラン相当の車を失ったと彼は今も残念に思っています。



アメリカ、メキシコ、プエルトリコでビジネスマンとして経験を積んだ後、ハンスはスイスに戻り、独自の役員採用会社を立ち上げました。1970年代には356ポルシェに心を奪われ、同僚と小さなディーラーシップを始めました。彼のブガッティの経験と同様に、ビジネスモデルは古いポルシェを買い、修復してから再販することでした。

年月を経て、彼は自らのコレクションを拡大し、2015年には80歳でそのコレクションを「クラシックカー有限会社」というビジネスに変えました。現在、そのビジネスは異なる状態の100以上のクラシックカーを所有しています。

### special thanks 鈴木桂様 ( [www.drkatsurasuzuki.com](http://www.drkatsurasuzuki.com) )

チューリヒの行程は、バイオリニスト・鈴木舞と企画・下地優子の頼れる「スイスの母」である鈴木桂様にご協力いただきました。ありがとうございます。

## DAY3 📍 ドイツ/リンダウ

リンダウはボーデン湖に浮かぶ島でまるでイタリアのベニスのように、湖に浮かぶ孤島です。

1000年以上もの歴史を誇る町で、882年には既に存在していたという記録があり、「菩提樹 (ドイツ語: リンデ) のある島」という意味として使われていた「リンダウ」という言葉が、そのまま町の名前になったと伝えられています。その美しい姿はドイツ版ヴェネチアのようにもあります。

1618年から始まった30年戦争の時代は、数々のドイツの町を廃墟にしたスウェーデン軍の攻撃に耐えたほど、強固な要塞都市でした。今でこそ城壁や監視塔の多くは「近代化の邪魔。と取り壊されてしまいました。でもよく探すと、まだ残っている部分が見つかります。近代以降は交易地として栄えた裕福な町だったので、町全体がどことなく優雅な雰囲気。現在は世界中の富裕層の集まる保養地です。



## DAY3

## 📍 ドイツ/ミュンヘン

ミュンヘンは、ドイツ南部のバイエルン州にある都市です。ドイツ国内では三番目に大きな都市です。ですが都会にありがちな冷たさを感じられず暖かい人が多い街で「人口130万人の村」とも呼ばれています。排他的な風潮も無く穏やかな場所なので、多くの観光客やワーキングホリデーで訪れる人を温かく迎え入れてくれます。

### ミュンヘンレジデンツの観光

ミュンヘン・レジデンツ（Münchner Residenz）はミュンヘンの旧市街北部にある、旧バイエルン王国ヴィッテルスバッハ王家の王宮。現在は博物館や劇場として公開されている。1385年シュテファン3世によって建設が開始され、その後ヴィッテルスバッハ家の宮殿として増改築を繰り返して現在の配置となった。ドイツ革命でバイエルン王国が廃止された後に公開施設となった。第二次世界大戦で損傷を受けたが、戦後修復され現在に至る。



### バイエルン歌劇場でオペラ、蝶々夫人の鑑賞

バイエルン国立歌劇場（バイエルンこくりつかげきじょう、ドイツ語：Bayerische Staatsoper）は、ドイツのバイエルン州ミュンヘンにある歌劇場。運営はバイエルン州とミュンヘン市の補助金によっていることから「バイエルン州立歌劇場」とも呼ばれるが、日本ではかつてからハンブルクやベルリンのそれと同様に「国立歌劇場」という翻訳名称で紹介されて広く知られている。バイエルン国立歌劇場の起源はバイエルン選帝侯国の宮廷劇場にある（17世紀に選帝侯妃ヘンリエッテ・アーデルハイトが設立した歌劇団を嚆矢とする）。

## DAY4

## 📍 ドイツ/ミュンヘン

### ヘラクレスザールにて鈴木舞氏コンサートとBMW会長夫妻とのランチ

#### 鈴木舞氏の経歴

神奈川県出身。東京藝術大学附属高校、同大学を卒業。ローザンヌ、ザルツブルグ、ミュンヘンでピエール・アモイヤル、インゴルフ・トゥルバン各師に師事し、ディプロマ、ドイツ国家演奏家資格を取得。

2005年大阪国際音楽コンクールグランプリ、オルフェウス室内楽コンクール（スイス）優勝。2016年スピヴァコフ国際ヴァイオリンコンクール（ロシア）第2位。2018年コープミュージックアワード室内楽コンクール（イタリア）第2位。2012年、宮内庁主催皇居桃華楽堂での御前演奏会に出演。将来を囑望される新世代のヴァイオリニストとして、2012年度シャネル・ピグマリオン・デイズ・アーティストに選ばれた。2012-13年度文化庁芸術家在外派遣研修員。



### ニンフェンブルク城観光

この宮殿はバイエルン選帝侯フェルディナント・マリアとその妻ヘンリエッテ・アーデルハイト・フォン・ザヴォイエンの命により、イタリア人建築家アゴスティーノ・バレリが1664年に設計したもの。映画「実写版美女と野獣」のロケ地としても有名。



マルタの歴史は紀元前5000年頃、イタリアのシチリア島から農民が渡来したことから始まります。その500年後、紀元前4500年ごろには世界遺産に登録もされている巨石神殿群が建てられます。この巨石神殿群はマルタ島とゴゾ島で発見されていて人類最古の石造建築物なんです。ピラミッドよりも古い建造物です。1980年にユネスコの世界遺産（文化遺産）に登録されました。

その後、紀元前1000年ごろからは地中海沿岸の国々からの攻撃と支配の歴史が始まります。

特に紀元後870年にアラブ人が侵略し、イスラム帝国の支配下となってからは数百年単位という短い期間にノルマン人やスペインに支配されます。

16世紀、マルタ島はスペイン帝国から聖ヨハネ騎士団に譲り渡されました。聖ヨハネ騎士団はシチリア王国の属国としてマルタを統治し、1565年にはマルタ島を制圧しようとしたオスマン帝国の包囲を受けるもこれを撃退しました。その後騎士団は約2世紀に渡り島を統治した。聖ヨハネ騎士団統治下のマルタ島は芸術活動や建築における全盛期となり、社会的にも飛躍的に発展した。

しかし1798年、フランスの将軍ナポレオン率いるフランス軍にマルタ島は占領され、それから数ヶ月に渡りフランスの勢力下に置かれました。フランスによるマルタ島統治が始まって数ヶ月が経った頃、マルタ人の反乱組織がイギリスの支援を受けながら島内のフランス軍が一掃しました。そしてマルタ島はイギリスの保護下に置かれました。その後1813年、イギリスはそのままマルタ島をイギリスの直轄植民地となりました。

1964年、マルタ直轄植民地は英連邦王国自治領マルタ国として独立を果たし、1974年にはエリザベス女王を女王とする君主制から共和制へと移行し、現在のマルタ共和国となった。

## 大聖堂内のカラヴァッジョの名作の見学

### ミケランジェロ・カラヴァッジョ

ミケランジェロ・カラヴァッジョはルネサンス期の後に登場し、1593年から1610年にかけてローマ、ナポリ、マルタ、シチリアで活動した。あたかも映像のように人間の姿を写実的に描く手法と、光と陰の明暗を明確に分ける表現は、バロック絵画の形成に大きな影響を与えた画家。

### 聖ヨハネ大聖堂

聖ヨハネ大聖堂は、当時オスマン帝国からマルタ島を守ったばかりであった聖ヨハネ騎士団の功績を讃えて集まった多額の寄付金により、建築家ジェラーロモ・カッサールの設計で1578年に完成しました。外観はシンプルな造りですが、内観はバロック風の絢爛豪華な造りとなっており、当時の騎士団の資金の豊かさが窺えます。



## 大統領官邸見学

大統領官邸内部を特別に見学。国勢揺らぐなかではありますが、補佐官がディナーにいらっしゃることが予定されています。

## 日本との関係

日本人が最初にマルタを訪れたのは1862年の幕府の使節団（文久遣欧使節団）だとされています。同使節団はエジプトのアレクサンドリアからフランスのマルセイユに渡る航路の途上でマルタに寄港しています。またこの使節団の中には、当時27歳だった福沢諭吉も通訳として含まれていました。

昭和天皇が皇太子時代の1921年欧州ご旅行の途中マルタを訪問されました。この時記念植樹された木がサン・アントン・ガーデン公園に茂っています。

## 駐日大使アンドレ・スピテリ氏より

駐日大使アンドレ氏と出発5日前にお話しした際、メッセージをいただきました。

「私は日本にマルタ大使館ができる前から、日本とマルタを繋いできました。こうして若い方が文化を通して国と国をつなぐ活動は素晴らしいことです。ぜひ存分にマルタを楽しんで、歴史にふれ、エンジョイしてください。今後も日本とのより良い関係をともに築いていきましょう。」

